請願第7号 ノーベル平和賞を受賞した被爆者の
願いである、日本政府に核兵器禁止条約への
調印・批准を求める意見書提出を求める請願書
討論一覧(討論順掲載)

賛成討論 門原武志 議員

日本は核兵器禁止条約に参加を

政府は、核兵器禁止条約は核軍縮交渉に分断をもたらすとの理由で、同条約に参加しない方針だ。一方、長崎県議会は核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書（自民党が提案）を全会一致で可決した。「平和と軍縮をさまざまな側面から学ぶことや、核兵器が現在および将来の世代におよぼすリスクと影響について啓発すること」（同条約前文）を意識すれば、核兵器国の世論を変え、核兵器国の核廃絶への動きにつながる。核兵器不拡散条約（NPT）が義務付ける核軍縮交渉が進まないことに危機感を持った国々は、核兵器禁止条約への参加を核兵器国にも参加を呼び掛けたが、核兵器国は参加を拒否した。いったい核軍縮交渉に分断をもたらしたのは誰なのか。核兵器は使用することだけが危険なだけではなく、意図せぬ事故で爆発することも人類の滅亡につながる。核兵器国の世論を変えるために、日本は核兵器禁止条約を批准し核廃絶への役割を果たすべきだ。

賛成討論 中野まさひろ 議員

子ども達に地球を残すため、条約に参加を!!

NHKの朝の連続テレビ小説「虎に翼」の主人公のモデルである女性裁判官三淵嘉子氏は、原爆投下の違法性が初めて争われた「原爆裁判」において「原子爆弾による襲撃は、当時の国際法からみて、違法な戦闘行為であると解するのが相当である」旨判事しました。そして今、ロシアのプーチン大統領は、ウクライナでの核兵器による威嚇を、北朝鮮は核攻撃の可能なミサイルの発射実験を繰り返しています。核兵器による戦争抑止力は機能していません。そんな中、日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。私たちは、子ども達に健全な地球を残すため、核兵器を使用できない状況を作らなければなりません。唯一の被爆国であるわが国の核兵器禁止条約への参加は、核兵器保有国への大きな圧力になるとともに中立の立場にいる国々の背中を押すこととなります。世界の国々と協力し、核兵器全面禁止を求めるために、核兵器禁止条約に参加、調印、批准すべきであります。

反対討論 山下茂 議員

本請願は本年第2回定例会でもほぼ同様の内容の請願が出され、不採択となったことは記憶に新しい。先の世界大戦から80年近くが経ち国連加盟国193か国中、この80年間で一度も戦争を起こしていない国が8か国ある。アイスランド、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、スイス、ブータン、そして日本。そしてこれら8か国はいずれも核兵器禁止条約への批准を行っておらず、長きにわたり平和を護り抜いて来た国であるが故に、そして戦争を紛争解決の手段としなかった国だからこそ、問題の多い核兵器禁止条約を批准していない。また米英露が後ろ盾になりウクライナが核兵器を放棄することと引き換えに、ウクライナの領土対して軍事力を行使または利用しないことを保障するとのブダペスト覚書を交わしたが、その後ロシアは覚書を無視して、核を捨てながらNATOの傘下に加われなかったウクライナを一方向的に侵略したという事実も見ておく必要がある。